



I 第19週の発生動向 (2024/5/6~2024/5/12)

1. インフルエンザについては、県全体の定点当たり報告数が流行の目安である1.00人/定点を2週連続で下回ったことから、2023/2024シーズンの県内インフルエンザ情報の掲載は今回をもちまして終了します。

II 第19週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	1	0.08	1	0.08			1	0.14					3	0.05	-8
	新型コロナウイルス感染症	35	2.92	36	3.00	64	5.33	30	4.29	39	4.33	41	6.83	245	4.22	-74
小児科	RSウイルス感染症			3	0.38	2	0.29	1	0.20					6	0.16	3
	咽頭結膜熱	1	0.14	4	0.50	6	0.86	1	0.20	1	0.17	5	1.25	18	0.49	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	1.57	24	3.00	16	2.29	36	7.20	14	2.33	11	2.75	112	3.03	43
	感染性胃腸炎	24	3.43	28	3.50	28	4.00	16	3.20	5	0.83	1	0.25	102	2.76	45
	水痘			4	0.50									4	0.11	0
	手足口病															0
	伝染性紅斑									2	0.33			2	0.05	2
	突発性発しん			3	0.38	4	0.57	1	0.20	1	0.17			9	0.24	1
	ヘルパンギーナ	2	0.29											2	0.05	2
	流行性耳下腺炎															0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50	2	2.00					3	0.30	3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎										2	2.00		2	0.33	-2
	無菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1

感染症の窓

腸管出血性大腸菌感染症は、O157をはじめとするベロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌に汚染された食べ物などを経口摂取することによっておこる感染症です。

過去10年間の腸管出血性大腸菌感染症の報告数の推移は図のとおりであり、新型コロナウイルス感染症の流行によって、手洗いなどの基本的感染対策が徹底されていた2020~2022年においても、本疾患の報告数はあまり変わらなかったことから、手洗い(菌をつけない)だけでなく、「食中毒予防の3原則」の「やっつける」・「増やさない」取り扱いについても改めて注意する必要があります。

国内における腸管出血性大腸菌による食中毒事例としては、「食肉」によるものが多くみられます。腸管出血性大腸菌は、もともと家畜の腸管内に常在するので、肉に付着する菌をゼロにすることは非常に困難です。しかし、腸管出血性大腸菌は熱に弱いことから、生肉や加熱が不十分な肉料理は避け、肉を十分に加熱しましょう。特に、肉や脂をつなぎ合わせた成型肉やひき肉等は内部まで細菌が入り込んでいる可能性があるため、中心部まで十分に加熱してから食べるようにしましょう。加熱の目安は、肉の中心部の温度が75℃で1分間以上加熱することです。

また、「野菜」が原因とされる食中毒事例も報告されていますので、野菜の衛生管理にも十分注意する必要があります。野菜は新鮮なものを購入し、持ち帰ったら、すぐに冷蔵庫で保管しましょう。また、使用時には流水で十分に洗い、ブロッコリーなど形が複雑なものは湯がいたり、皮付きのものは皮をむくなど、野菜の形状に応じた取扱いを心がけましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞[腸管出血性大腸菌O157等による食中毒\(厚生労働省HP\)](#)

腸管出血性大腸菌感染症の予防

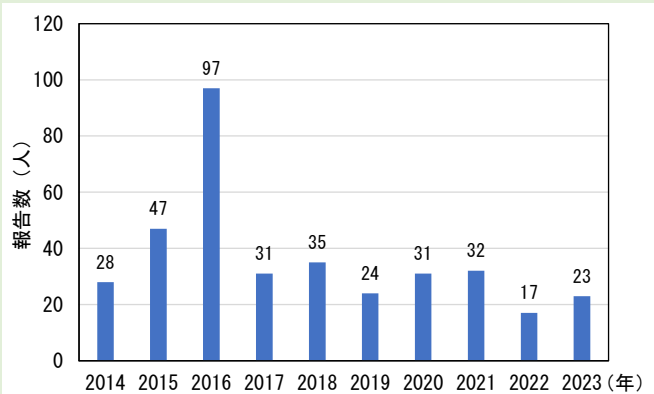


図 腸管出血性大腸菌感染症の報告数の推移 (2014~2023年)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症) : 青森市1人、弘前1人 (2024年計 : 34人)
- ・つつが虫病(四類感染症) : 弘前1人 (2024年計 : 1人)
- ・レジオネラ症(四類感染症) : 青森市1人 (2024年計 : 6人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(五類感染症) : 青森市1人 (2024年計 : 18人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2024年第12週~2024年第19週)

- ・第19週の患者報告数は3人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは2人【A型:1人、B型:1人】でした。

保健所管内別報告数(人)

保健所名 \ 週	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	300	148	98	33	26	12		1
弘前	189	118	69	28	37	11	2	1
三戸地方+八戸市	117	98	50	23	19	10	1	
五所川原	130	110	66	30	7	10		1
上十三	192	70	43	25	10	8	6	
むつ	129	111	69	37	10	6	2	
合計	1057	655	395	176	109	57	11	3

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名 \ 週	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	5	12	4	1	1	3		
弘前		4	2	1	1			
三戸地方+八戸市		1	1	2		3		
五所川原	25	26	21	10	7	3		1
上十三	12	1	4	6	1			
むつ	4	3		1	1			
合計	46	47	32	21	11	9		1

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名 \ 週	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	281	130	88	31	25	9		
弘前	189	114	67	27	36	11	2	1
三戸地方+八戸市	113	97	47	21	19	7	1	
五所川原	105	84	45	20		7		
上十三	170	62	34	16	9	7	6	
むつ	95	88	56	24	8	4	2	
合計	953	575	337	139	97	45	11	1

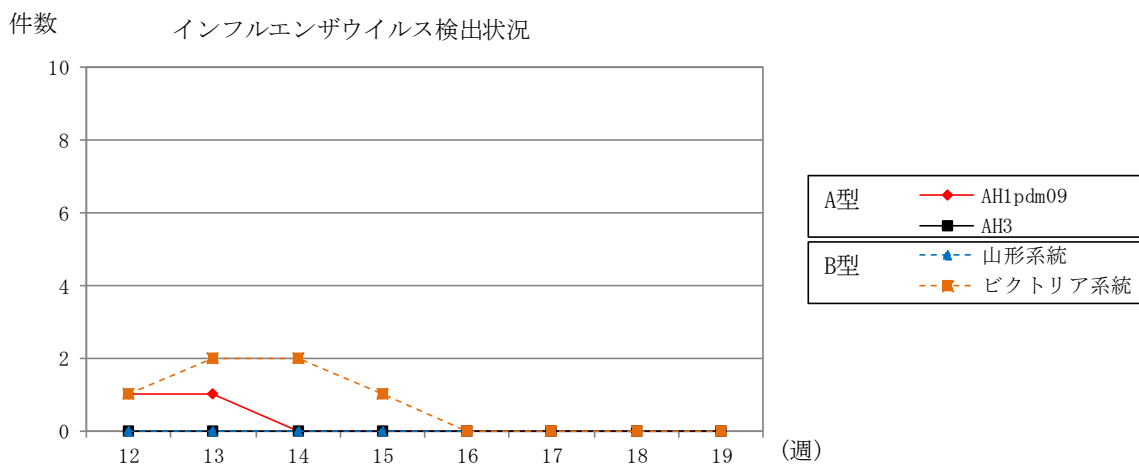
年齢区分別(人)

年齢区分 \ 週	12	13	14	15	16	17	18	19
~5ヶ月	3	1	2	1				
~11ヶ月	11	6	8	2	2			
1歳	23	19	19	5	2	1	1	
2歳	23	9	17	9	3	4	1	
3歳	26	18	17	13	11	5		
4歳	30	33	22	12	5	1		
5歳	62	43	52	17	5	4	3	1
6歳	96	56	33	4	8	3	1	
7歳	96	52	24	15	9	2	2	
8歳	96	66	22	18	18	5		
9歳	95	66	20	8	7	3		
10~14歳	283	158	54	22	18	11	1	1
15~19歳	54	19	12	6	2	4	1	
20~29歳	32	19	20	12	4	4		
30~39歳	48	47	30	15	8	5	1	
40~49歳	37	18	22	5	5	3		
50~59歳	18	8	8	4	1	1		1
60~69歳	10	9	7	3		1		
70~79歳	6	2	3	2				
80歳以上	8	6	3	3	1			
合計	1057	655	395	176	109	57	11	3

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2024年							直近5週間 合計	2023/2024 シーズン 合計	
		12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週			19週
提出検体数		2	3	2	1	0	0	0	0	1	55
A型	AH1pdm09	1	1							0	15
	AH3									0	17
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統	1	2	2	1					1	23
合計		2	3	2	1	0	0	0	0	1	55

注) 2023/2024シーズンは2023年第36週（9/4～9/10）～2024年第35週（8/26～9/1）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2024年第16週～2024年第19週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人				
17						
18	クロイツフェルト・ヤ コブ病 1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			
19	レジオネラ症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	つつが虫病1人				

VIII 結核(二類感染症)（2024年第16週～2024年第19週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16		1			2	
17	1					
18				1		
19	1	1				

Ⅸ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第18週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス	回帰熱
累積報告数	4963	19	467	12	3	182	47	3	13	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症
累積報告数	6	1	32	66	58	43	1	11	536	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	187	66	625	12	215	9	57	801	310	16

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	225	14	957	155	4374	76	19	43	261	4

分類	五類
疾病名	麻しん
累積報告数	21

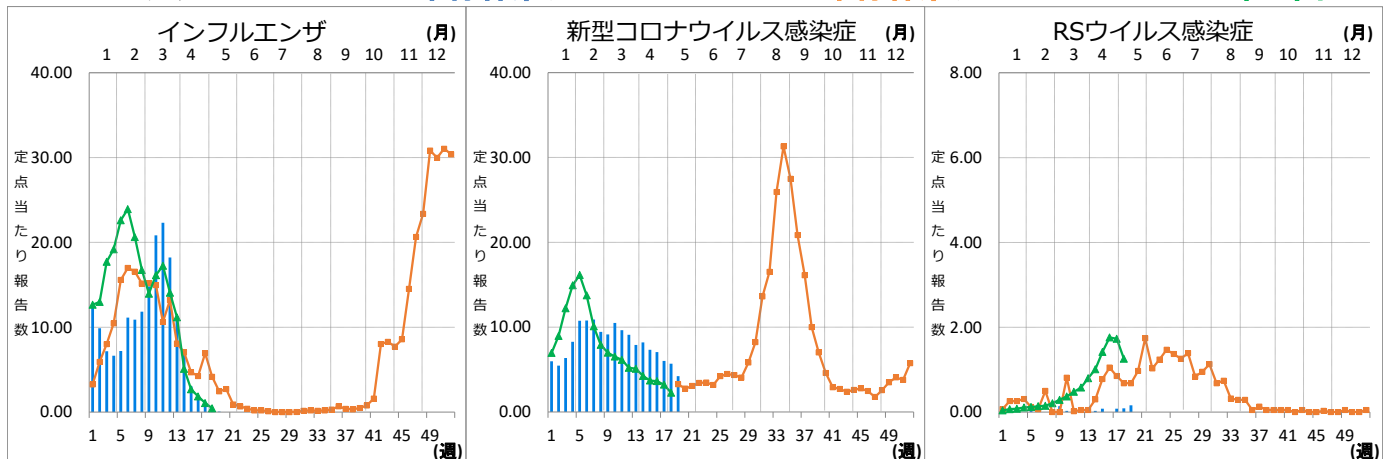
青森県（2024年第1週～第19週までの累計）

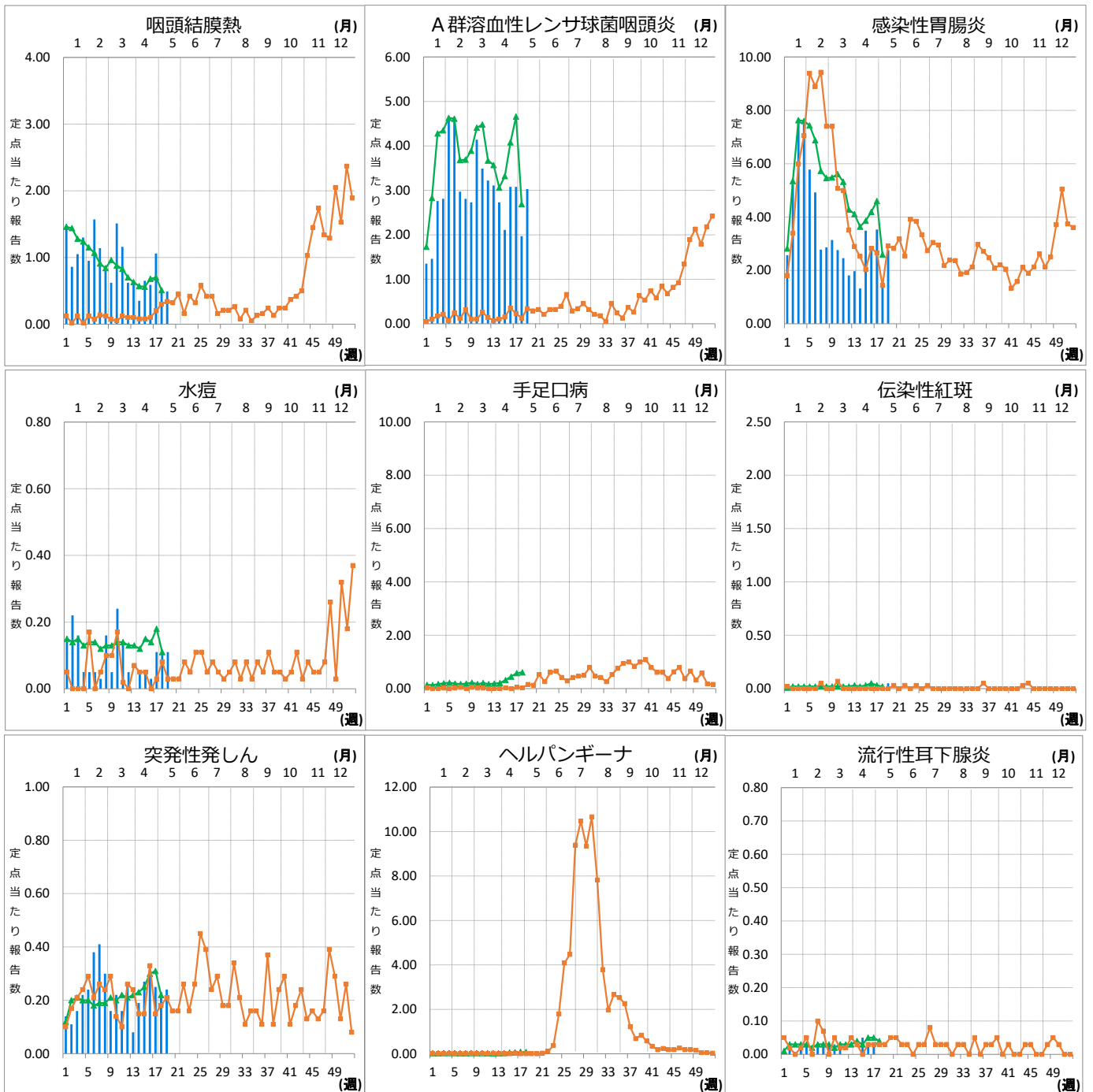
分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	34	4	1	6	18	2	4	5	1	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳
累積報告数	9	1	7	2	9

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024年第19週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ■は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国





XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第19週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← 青は2024年青森県、オレンジは2023年青森県、緑は2024年全国

